

小野木科学技術振興財団

発明22件に助成金

小野木科学技術振興財団(小野木孝二理事長)は20日、県内の優れた発明考案者への助成金の贈呈式を岐阜市内で開き、22件に計375万円を贈った。

同財団は1985年に設立され、科学技術の振興や発明工夫家の援助を目的に、86年から毎年、幅広い分野での発明考案に助成活動を行っている。今年是一般と、高齢者対策の発明を対象としたシルバーの2部門に計22件の応募があった。

最優秀賞には一般の部が大和工務店(関市)の玉井次彦社長の「構面構造」、シルバーの部は中日本カプセル(大垣市)の山中利恭社長、柳瀬康博氏、須原渉氏、井辰かおる氏、今村星香氏の「ソフトカプセルの製造方法」が選ばれた。式で小野木理事長は「これから皆さんに頑張っていただき、日本、そして世界に認められるサービスや製品をつくっていただきたい」と述べ、受賞者に盾と助成金を手渡した。



表彰された受賞者ら＝岐阜市正木中マース21

県発明協会にも助成金160万円を贈呈し、川島政幸、小林正也

樹副会長に目録を渡した。その他の受賞者は次の皆さん。

【一般】▽1位 新藤良太、村瀬信義、吉田英高(ナガセイ・ンテクレックス)▽2位 安江好己、遠山幸彦(クローバーエース)▽3位 浅野寛栄、齋藤俊彦(宝機材)片桐良夫(大林)▽優秀賞 中村巨孝(エヌテック)岸佑樹、井村元、中野翔太、高木颯馬(オンタ製作所)▽努力賞 太田信吾(イビケン)亀山直央、亀山義比古(亀山建設)丹羽康徳、中村浩康、太田賢二(秋田屋本店)宇野強(中洲電機)石田和宏、伊藤友人、長沼寛(日新産業)鈴木欣也(エヌ・エス・ピー)増田治雄(揖斐川工業)久積美代子(ヒサツミ)坂保(サンコーキカイ)兼松誠司(兼松工業)入澤徹(サンケイサポート)

【シルバー】▽優秀賞 加藤真悟(アビ)▽努力賞 稲垣隆幸、小林正也